

# 青森県・げんねんジュニアロボットコンテスト

当社は、青森県の未来を担う小中学生の皆さんに、ロボットの製作や自分の作ったロボットを駆使した対抗競技を通じて「科学する楽しさ」を体験し、科学や物づくりへの関心を深め、創作意欲あふれる人材に成長していただくことを目的に、1999年度から青森県・げんねんジュニアロボットコンテストを実施しており、今回で27回目となります。

## 【競技の様子】

今年2月7日に六ヶ所村総合体育館で開催し、県内10市町村から選手185名をはじめ、約350名が来場しました。選手たちは日頃の練習で磨いてきたロボットの操作技術を存分に発揮し、各競技に真剣に挑んでいました。



最後まで集中を切らさず粘り強く戦った六ヶ所村のチーム

2本のアームを使いこなし一気にブロックを運ぶ十和田市の選手

腕を伸ばしながら懸命に操作するおいらせ町、弘前市、十和田市の混成チーム



真剣な表情で一進一退の攻防を見せる青森市の選手

土俵際で緊張感あふれる熱戦を繰り広げる五所川原市の選手

高い集中力でロボットを操作しブロックを運び込む黒石市の選手



連携プレーで熱戦を戦い抜いた黒石市、三沢市、五所川原市の混成チーム

チームメイトの声援を受けながら白熱した試合を展開する平川市の選手

息の合った操作でチームワークを発揮する板柳町のチーム



**ロボコン大賞** みうら だいち 三浦 大知さん (平川市)

チームメイトと協力して優勝することができました。受賞できるとは思っていなかったので、とても嬉しいです。

## 【選定理由】

- ・競技に求められる機能・性能を満たすロボットを製作したこと。
- ・人とロボットが一体となるような高い操縦技術であったこと。



個人戦決勝で圧倒的強さを見せたおいらせ町の選手

## ご参加いただいた 10市町村の 少年少女発明クラブ、 アイデアクラブの皆さま



六ヶ所村少年少女発明クラブ



十和田市少年少女発明クラブ



弘前市少年少女発明クラブ



青森市少年少女発明クラブ



五所川原市少年少女発明クラブ



黒石市少年少女発明クラブ



三沢市少年少女発明クラブ



平川市少年少女発明クラブ



板柳町少年少女発明クラブ



おいらせ町少年少女アイデアクラブ



## 【参加した選手たちの感想】

- ▶ チームの仲間と作戦を立てながら競技に臨むのが楽しかった。(弘前市)
- ▶ ロボット同士がぶつからないよう、声を掛け合った。競技を通じて役割分担とチームワークの大切さを学んだ。(十和田市)
- ▶ チームメイトと役割分担をして、それぞれの役割を頑張ることができた。(六ヶ所村)
- ▶ 当日までたくさん練習したので、自信を持ってロボットを動かすことができた。勝ち進んでいくのが嬉しかった。(おいらせ町)
- ▶ 故障もあったが、最後まで諦めずに続けられた。来年は壊れないロボットを作ってリベンジしたい。(黒石市)
- ▶ 製作にとても時間がかかり、何度も作り直すのが大変だったが、当日はうまく操縦でき、勝つこともできたので嬉しかった。(平川市)

参加者の皆さまにとって、本コンテストに参加したことが、より一層科学に対する興味や物づくりへの関心を深め、自分の将来の可能性を広げることに役立つことを願っております。